心聖会 広報誌

広報こいけ

発　　行：社会福祉法人　心聖会
広報委員会
発行責任者：吉村　優児
URL http://www.e-shinseikai.or.jp/

（法人事務局）
〒276-0001
千葉県八千代市小池３９３
TEL 047(488)8222　FAX 047(488)8229

経　営　理　念

わたしたちは、利用者の幸せ、利用者の家族の幸せ、地域住民の幸せ、そして、これらを支えることを職員の幸せとして事業に取り組みます。

・障害のある人の人格と個性を尊重します。
・障害のある人が安心して豊かな地域生活を営めるよう支援します。
・障害のある人の喜びや悲しみを共感できる職員であることに努めます。

祝 開園記念









創立40年の節目を迎えて

小池更生園
施設長　吉村　優児

１９８２（昭和57）年に設立された社会福祉法人心聖会は、２０２２（令和４）年の今年、創立40周年を迎えることとなりました。

ご利用者、ご家族、地域の皆様、また法人運営面においてご協力いただきました役員の皆様、これまでご指導やご助言をいただきました関係機関の皆様等、たくさんの人とのつながりやご縁に感謝するとともに、この間法人が存続し発展できましたのは、多くの皆様のご支援による賜物であると、心より御礼申し上げます。

振り返れば、目まぐるしく変化していく時代や制度への対応に苦慮しながらも、ご利用者の皆様の「安全・安心でより豊かな生活」の実現に向けて日々精一杯取り組んでまいりました。今後も地域に貢献できる法人、地域の発展に資する法人としてあるべき姿を追求し、次の10年を見据えながら、引き続き地域で愛される施設を目指して様々な困難をも乗り越えることができるよう、職員一丸となって取り組んでまいります。

永年勤続表彰



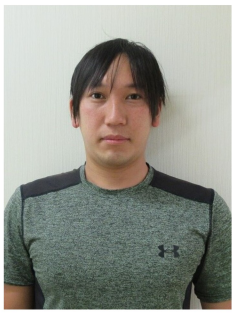
勤続5年
亀田　貴弘
作山更生園



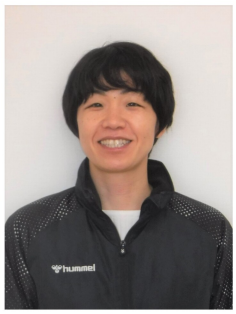
勤続5年
中村　朋也
支援センター



勤続5年
倉田　篤
作山更生園

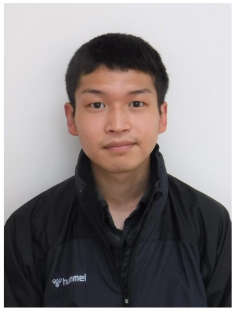


勤続10年
嶋根　清人
支援センター



勤続20年
市川　朋未
作山更生園

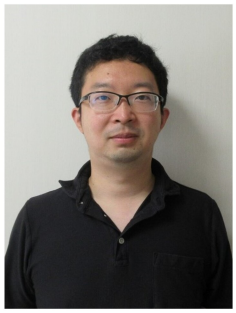




勤続5年
吉田　航
作山更生園



勤続5年
飯塚　直樹
こいけホーム



勤続5年
田村　直毅
支援センター

永年勤続のご挨拶

作山更生園
施設長　市川　朋未

私は平成14年に心聖会に就職し、小池更生園で生活支援員として13年間、作山更生園では施設長という役職をいただき7年間働かせていただきました。

振り返れば様々な出来事があり、良いことばかりではなく悲しい事もありました。それでも、尊敬できる上司や一緒に働く職員の支えがあり、ご利用者・ご家族にも恵まれ、また、多くの関係者から学びの機会やお力添えをいただき20年間続けることができました。この場をお借りしまして御礼申し上げます。

支援員としてご利用者と楽しくマラソンをしたり、食事介助や入浴介助といった日常の支援を仲間の職員と一緒に和気あいあいと行っていた日々は、私の掛け替えのない財産であり、この仕事にやり甲斐を感じた大事な経験です。その頃と今では役割が少し変わりましたが、変わらない思いがあります。それは、この仕事は奥深くやり甲斐があるということ。課題に向かって共に悩み・考え・行動する仲間がいて、皆で取り組んだ行動の結果が課題解決に繋がった時の嬉しさ、そしてその行動によりご利用者の笑顔が引き出せた時の喜びがこの仕事の魅力であり、働く原動力でもあります。

ここで人生を重ねてきたご利用者やこれから新たに利用される方々が、ここで暮らせて良かったと思う場所作りと、働く職員一人一人が持っている力を存分に発揮できる環境作りが私の責務と感じています。人の一生に深くかかわる仕事であることに責任と誇りを持ち、一人では成し得ない仕事だからこそすべての人に感謝の気持ちを持って笑顔で接することを忘れずに、これからも法人の発展のため、精一杯努力して参ります。







小池更生園便り

みそ加工班・受注班日帰り遠足



昔ながらの街中を散策

5月19日、みそ加工班、受注班合同で日帰り遠足、イベントを行いました。昨年は新型コロナウイルスの影響で、作業班外出が叶わなかったこともあり、「洋服何着ていけばいいかな」「唐揚げ弁当頼んだよ」と皆さん心待ちにしている様子でした。

午前中は園内でレクリエーション。玉入れでは楽しみながらも皆さん本気モードでした。職員がエビカニクスのダンスを披露すると、ご利用者も飛び入り参加し、一緒に踊って目いっぱい体を動かしました。終わった後も音楽を口ずさんだり、「昔踊ったから踊れたね」と話をするご利用者もいました。

一番楽しみにしている昼食は、ハンバーガー、スパゲッティー、唐揚げなど、事前にご自身で選んだメニューです。隣の人のメニューもちょっといいな、と思いながらもご自身の選んだものに大満足の様子でした。

昼食の後は印旛郡栄町にある房総のむらへ出発。久しぶりの外出ということもあり、バスの中からテンションが上がります。到着後はグループに分かれて散策し、昔ながらの風景を楽しみました。コロナ禍で思うような外出やイベントがなかなか出来ず、我慢も多い生活ですが、当日は天気にも恵まれ、楽しい1日を過ごすことができました。



外で体を動かすと楽しい♪

新任職員研修

係長　吉田茂弥

毎年4月に、新任職員を対象とした研修を行っています。この研修は、小池更生園の基本方針を理解し、ご利用者にサービスを提供する上で、大切にして欲しいこと、社会人としてのマナーを身につけ、小池更生園を支える人財に育ってもらうことを目的に実施しています。

私は、講師という立場で、言葉遣い、振る舞いについて話をしましたが、「目は、口ほどに物を言う」と言う言葉の通り、態度、姿勢が意識出来ているのだろうか、仕事に対する姿勢を振り返る良い機会にもなりました。福祉の仕事は、ご利用者に学ぶ謙虚さがないと続けていくのが難しい仕事だと私は常々思っています。ご利用者、職場の同僚、自分自身と真摯に向きあいながら、信頼関係を築いていける人財に育ってもらいたく、新任の職員にはフォローをしっかり行いつつ、積極的に意見を吸い上げ取り入れることで、やりがいを持って、仕事に取り組めるようサポートしていきたいと思います。

いざという時に備えて

～事業継続計画～

係長　鈴木裕一

東日本大震災のような大きな地震でも記憶は年月が過ぎれば薄れてきますが、昨今の地震の多さには危機感を覚える方もいらっしゃるのではないでしょうか、また、新型コロナウイルスの猛威は、周知の事実であります。

令和3年度の障害福祉サービス等報酬改定において、感染症や災害への対応強化として、事業継続計画（ＢＣＰ）の策定が義務化され、緊急事態が発生した時に、損害を最小限に抑え、事業の継続や復旧を図れるよう、各事業所ごとに策定を進めているところであります。

既に、新型コロナウイルスのＢＣＰ策定は済んでおりますが、災害については、対策の強化を進めているところです。しかしながら、昨今の社会福祉に求められる社会貢献の高まりもあり、事業を継続するためだけの計画ではなく、有事における福祉避難所としての役割として、ご利用者だけでなく、地域の住民の皆様の安心につながるように整備を進めて参ります。

作山更生園便り

開園記念日のご報告

～23周年を迎えて～

6月1日、作山更生園では、23回目の開園記念日を迎えました。今年度は感染状況が落ち着いていたため、行事の制限を緩和し、外ではありましたが久しぶりに、ご利用者全員が一同に会するイベントを開催しました。

そこで、密にならないよう感染対策も行いながら開放感も感じていただけるように、園庭でのビンゴ大会をメインイベントに据えた企画を準備しました。



久しぶりの全員集合！記念撮影できました♪

6月という時節柄、開催前は雨も心配されていましたが、当日は青空の下でイベントを開催することができました。午前10時、楽しい音楽と暖かな日差しのもとでビンゴゲームがスタートしました。「自分にも当たるチャンスがある」とドキドキしながら司会が読み上げる数字に耳を澄まし、ビンゴカードを確かめ、数字が合うたびに大きな声が上がり、最後まで歓声の絶えないイベントとなりました。

短い時間ではありましたが、多くのご利用者が笑顔で参加されていたことが、職員としても大変うれしく感じられました。今後も、感染対策と「楽しさ」を両立させながら、ご利用者の皆に喜んでいただける催し物を実施してまいります。



名コンビの司会！

支援員からのメッセージ

～リーダーに任命されて～

本年度より、作山更生園の男性棟の棟リーダーになりました吉田航です。

入職以来、経験豊富な先輩方からご指導をいただきながら、支援員として成長することができました。そして6年目を迎えた今年、男性棟のリーダーに初めて任命されました。

当初は、「自分に務まるのだろうか」という不安を抱いたこともありました。現在では、多くの職員に支えられることで、リーダー職のやりがいを日々実感しています。もちろん、実力不足を思い知らされる場面に出会うこともありますが、未熟さを痛感した分、たくさんの経験を積み、知識や技術を吸収して、今以上の実力をつけることができることも事実です。そのために大切なのは、常にポジティブであり続け、考え、そして努力をすることだと思っています。

与えられた役割を果たせるような支援を実践していけるように全力を注いでいきます。

～支援は全員参加で～



私はリーダーとして、ご利用者が快適に過ごすことができる男性棟を目指しています。そのためには全支援員がご利用者の支援目標を理解し、一丸となって統一した支援を行うことが必須と考えます。しかし、多様な経験や技術、知識を持った支援員が多くいるため、様々な意見が上がり、支援方法がうまくまとまらない時もあります。そんな時でもどうしたらご利用者がより快適に生活できる環境が整えられるか、全員で考え、お互いの意見を尊重しながら納得いくまで話し合いを行うことで視野も広がり、よりベストな支援方法が見つかると考えます。まだまだ未熟ではありますがリーダーとして貢献できるように、精一杯努力してまいります。

こいけ障害者支援センター便り

社会参加活動の再開



色々な作品に感化されました

コロナ禍以降、幾度となく繰り返されてきた緊急事態宣言や、まん延防止等重点措置に翻弄され、社会参加活動や外出行事等を自粛せざるを得ない状況が続きましたが、3月21日の全面解除後、徐々に行動制限が緩和されつつあります。その様な社会情勢を鑑み、当事業所でも社会参加活動を少しずつ再開し始めています。

＜文化芸術活動＞5月末に千葉市美術館で3年ぶりに開催された「アートフレンズ展」を観覧してきました。約300点の様々な作品を肌で感じて創作意欲が湧いてきたのか「センターに戻って絵を描きたい」と話す方もいらっしゃり、とても貴重な体験になりました。

＜作業活動収益って何？＞当事業所では、ちいき新聞の配布、農作物やバザー品の販売等により、作業活動の収益があります。日頃から作業活動を行っている全てのご利用者に対して、感謝の気持ちを込めたイベント等で、作業活動収益を還元しています。

チームでの外出やBBQ、ご利用者忘年会等の行事の他にも、コンビニや飲食店でスイーツやお菓子を購入して、近隣の公園などで食べる「月1感謝DAY」など、趣向を凝らした様々な企画があり、楽しみにしているご利用者が多くいらっしゃいます。

これからも、ご利用者が笑顔で活動できる事業所を目指して、多種多様な活動を提供していきます。



毎月楽しみな感謝DAY

こいけホーム

選べる楽しさ

5月5日、ゴールデンウィークに「パンを買いに行こう！」のイベントを行いました。白井にある「ピーターパン小麦の根」へ、数名ずつパンを購入しに行きました。サンドイッチやハンバーガーなどの総菜パン、チョココロネやドーナツなどの菓子パン、いろいろなパンが目白押しでした。菓子パンばかり買う方もいれば、ハンバーガーを2つ買うご利用者も！普段の献立ではパンが出る機会は少ないので、今回は自分で好きなパンを選べるとあって、皆さん大変楽しそうにされていました。購入後は壱番館、弐番館それぞれで召し上がりました。「パン久しぶりだなぁ」「ハンバーガー買いました」「コーヒーも美味しい」と、コーヒーと共に頂くパンはご利用者の気持ちを満たしてくれたように思います。



美味しくてバランスもバッチリ

7月1日より、こいけホームの食事を「ヤマト食品」に外注する事になりました。これまでは、ご利用者に家庭的な料理を楽しんでもらうために支援員が献立を考え、食材を発注していました。しかし、こいけホームもご利用者の高齢化が進み、家庭的な食事であると共に、健康面により一層の配慮が必要になってきました。今後は、ヤマト食品の栄養士さんが栄養バランスの整った、彩り鮮やかな食事を考えてくれます。季節の行事に合わせた献立も作成してくれるのです。写真は「山の日」昼食メニューです。山菜ごはん、きのこあんかけ、からしな、キャラぶき…美味しそうな献立ですね。これからはご利用者に、美味しく、かつ体にも優しい食事を召し上がって頂けると思います。



法人だより

令和3年度　社会福祉法人心聖会　決算報告

資金収支計算書

自　令和3年4月1日　～　至　令和4年3月31日

（単位：円）

科目			予算	決算	差異
事業活動による収支	収入	障害福祉サービス等事業収入	879,829,000	889,116,948	△ 9,287,948
		経常経費寄附金収入	250,000	250,000	0
		借入金利息補助金収入	0	0	0
		受取利息配当金収入	6,000	13,791	△ 7,791
		その他の収入	6,817,000	7,230,438	△ 413,438
		事業活動収入計	886,902,000	896,611,177	△ 9,709,177
	支出	人件費支出	590,361,000	586,066,614	4,294,386
		事業費支出	97,499,000	92,880,514	4,618,486
		事務費支出	78,304,000	74,989,284	3,314,716
		支払利息支出	1,007,000	1,006,564	436
		その他の支出	4,059,000	4,090,383	△ 31,383
		事業活動支出計	771,230,000	759,033,359	12,196,641
		事業活動資金収支差額	115,672,000	137,577,818	△ 21,905,818
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	215,000	434,961	△ 219,961
		施設整備等寄附金収入	0	0	0
		設備資金借入金収入	0	0	0
		固定資産売却収入	45,000	45,750	△ 750
		その他の施設整備等による収入	0	0	0
		施設整備等収入計	260,000	480,711	△ 220,711
	支出	設備資金借入金元金償還支出	7,620,000	7,620,000	0
		固定資産取得支出	8,695,000	8,607,128	87,872
		固定資産除却・廃棄支出	144,000	143,440	560
		その他の施設整備等による支出	0	0	0
		施設整備等支出計	16,459,000	16,370,568	88,432
		施設整備等資金収支差額	△ 16,199,000	△ 15,889,857	△ 309,143
その他の活動による収支	収入	長期運営資金借入金元金償還寄附金収入	0	0	0
		長期運営資金借入金収入	0	0	0
		長期貸付金回収収入	0	0	0
		投資有価証券売却収入	0	0	0
		積立資産取崩収入	3,223,000	3,298,877	△ 75,877
		その他の活動による収入	1,430,000	1,431,440	△ 1,440
		その他の活動収入計	4,653,000	4,730,317	△ 77,317
	支出	長期運営資金借入金元金償還支出	0	0	0
		長期貸付金支出	0	0	0
		投資有価証券取得支出	0	0	0
		積立資産支出	95,328,000	95,265,875	62,125
		その他の活動による支出	242,000	241,104	896
		その他の活動支出計	95,570,000	95,506,979	63,021
		その他の活動資金収支差額	△ 90,917,000	△ 90,776,662	△ 140,338
予備費支出			8,556,000	0	8,556,000
当期資金収支差額合計			0	30,911,299	△ 30,911,299
前期末支払資金残高			362,279,255	362,279,255	0
当期末支払資金残高			362,279,255	393,190,554	△ 30,911,299

事業活動計算書

自　令和3年4月1日　～　至　令和4年3月31日

（単位：円）

科目			金額
サービス活動増減の部	収益	障害福祉サービス等事業収益	889,116,948
		経常経費寄附金収益	250,000
		その他の収益	0
		サービス活動収益計	889,366,948
	費用	人件費	590,734,612
		事業費	92,843,565
		事務費	74,989,284
		減価償却費	55,562,696
		国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 20,112,046
		徴収不能額	0
		徴収不能引当金繰入	0
		その他の費用	0
		サービス活動費用計	794,018,111
		サービス活動増減差額	95,348,837
サービス活動外増減の部	収益	借入金利息補助金収益	0
		受取利息配当金収益	13,791
		有価証券評価益	0
		有価証券売却益	0
		投資有価証券評価益	0
		投資有価証券売却益	0
		その他のサービス活動外収益	7,230,438
		サービス活動外収益計	7,244,229
	費用	支払利息	1,006,564
		有価証券評価益	0
		有価証券売却益	0
		投資有価証券評価益	0
		投資有価証券売却益	0
		その他のサービス活動外費用	4,090,383
		サービス活動外費用計	5,096,947
		サービス活動外増減差額	2,147,282
経常増減差額			97,496,119
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	434,961
		施設整備等寄附金収益	0
		固定資産受贈額	0
		固定資産売却益	45,749
		その他の特別収益	1,431,440
		特別収益計	1,912,150
	費用	基本金組入額	0
		固定資産売却損・処分損	685,652
		国庫補助金等特別積立金積立額	434,961
		その他の特別損失	241,104
		特別費用計	1,361,717
		特別増減差額	550,433
当期活動増減差額			98,046,552
繰越活動増減差額の部		前期繰越活動増減差額	895,002,532
		当期末繰越活動増減差額	993,049,084
		基本金取崩額	0
		その他の積立金取崩額	0
		その他の積立金積立額	88,000,000
		次期繰越活動増減差額	905,049,084

貸借対照表

令和4年3月31日　現在

（単位：円）

資産の部	
流動資産	418,537,637
現金預金	279,676,183
事業未収金	132,641,584
未収金	139,388
未収補助金	4,263,200
仕掛品	375,689
原材料	92,665
立替金	70,005
前払費用	1,250,873
1年以内到来の長期前払費用	28,050
固定資産	1,813,452,608
基本財産	976,616,959
土地	56,000,000
建物	919,616,959
定期預金	1,000,000
その他の固定財産	836,835,649
構築物	88,221,891
車輌運搬具	5,482,907
器具及び備品	14,990,756
権利	4,702,102
ソフトウェア	441,467
退職給付引当資産	54,606,380
人件費積立資産	125,000,000
修繕積立資産	173,000,000
施設整備積立資産	320,000,000
土地購入積立資産	50,000,000
差入保証金	50,000
長期前払費用	162,239
その他の固定資産	177,907
資産の部合計	2,231,990,245
負債の部	
流動負債	66,551,679
事業未払金	16,869,962
1年以内返済予定設備資金借入金	7,620,000
預り金	120,232
職員預り金	6,430,485
前受収益	1,430,000
賞与引当金	34,081,000
固定負債	132,346,380
設備資金借入金	74,990,000
退職給付引当金	54,606,380
役員退職慰労引当金	2,750,000
負債の部合計	198,898,059
純資産の部	
基本金	33,439,350
国庫補助金等特別積立金	426,603,752
その他の積立金	668,000,000
人件費積立金	125,000,000
修繕積立金	173,000,000
施設整備積立金	320,000,000
土地購入積立金	50,000,000
次期繰越活動増減差額	905,049,084
（うち当期活動増減差額）	98,046,552
純資産の部合計	2,033,092,186
負債及び純資産の部合計	2,231,990,245

新任職員のお知らせ

①名前②出身地③好きな言葉

〈小池更生園〉



①鈴木　大登（すずき　だいと）
②東京都　新宿区
③安全第一

永年勤続表彰

この度は、千葉県社会福祉事業共助会様より、長期在籍会員として表彰して頂きました。コロナ禍ということもあり、勤務している小池更生園での表彰式とはなりましたが、理事長から暖かい言葉を掛けて頂き、この25年を振り返る良い機会になりました。

入職してから、仕事を通して、様々な諸先輩方と出会う事が出来、また、上司の皆様、後輩の皆様方の支えもあり、今日を迎えることが出来たと思っております。感謝の一言に尽きます。

少しでも恩返しが出来る様に、法人の理念のキーワードになっている「幸せ」に貢献できる職員を目指します

小池更生園
係長　鈴木　裕一

小池更生園みそ加工班からのお知らせ

新型コロナの状況もあり、依然としてバザーへの出店は難しい状況にあります。直接お客様とお会いして販売が出来ないのは誠に残念ではありますが、八千代市のふるさと納税や船橋市にあるメグスパでのお取り扱いは継続しています。直接お電話やメールでの受付もしていますので、お気軽にご連絡ください。

TEL　047-488-8222
Mail　koikekouseien
@e-shinseikai.or.jp

編集後記

今年も半分が過ぎました。時間の感覚は年齢に反比例する、というのは有名な話で、心理的現象を科学的に説明した「ジャネーの法則」と言うそうです。0歳～20歳までと21歳～80歳までは体感的には同じだそうで、大人になると約3倍の早さで過ぎることになります。本当に年々1年が短く感じる今日この頃ですが、実際の時間は皆同じ。短く感じるからこそ、有意義な時間を過ごしたいものです。